

社会を構成する最小単位は、ひとりひとりの「生活者」であり、その姿を知ることは、社会を知ることにも通じる。本連載では、「生活者」の意識や行動を測定したデータの様々な分析をもとに、現代の生活者の多様な姿に迫る。第三回のテーマは「生活経営」。ウエルビーイングの視点から、生活経営についての生活者の意識を探る。

第三回

生活経営



Toyota Shogo

豊田 尚吾

ノートルダム清心女子大学人間生活学部教授。大阪ガス㈱入社後、コロンビア大学東アジア研究所フェロウ、学習院大学特別客員教授、エネルギー文化研究所研究員などを経て2015年より現職。専門は生活経済学。著作に『地球温暖化とグリーン経済』など。

はじめに

今回のテーマは「生活経営」である。生活を賢く営むことでウエルビーイング（よい生活）を実現する。そのためには生き抜くための生活経営力も必要だし、ウエルビーイングとは何かという自分なりの洞察も重要である。以下、前半は生活の基盤を確保するという意味での生活経営力に関して、生活の余裕および生活経営力の自己評価という観点から論じる。それに加え、後半ではいかに生活満足度（主観的幸福感）を高めるかについて、2つの評価指標を紹介しつつ、感謝介入法などの取り組みの有効性についての考察を行う。

（*）大阪ガス㈱エネルギー文化研究所が行ったネットアンケート調査「ライフスタイルに関するアンケート」のデータ。約5000人を対象に、2015年2月に実施。調査主体は㈱マクミロル。

その1 生活に余裕がないと不安も大きい

多くの生活者は日々の暮らしに対する悩みや不安を抱えている。その中でもお金に関する悩みは生活の質にも大きな影響を与え、無視することができない。本調査（*）での「今現在のあなたの生活は金銭的に余裕がありますか」との質問に対する回答がChart 1である。「非常に余裕がある」との回答が0・9%（45人）しかないことをはじめ、「余裕がある」「どちらかといえば余裕がある」まで含めても全体の約22%に過ぎない。

加えて、「どちらともいえない」が

約24%、広義の「余裕がない」（「全く余裕がない」「どちらかといえば余裕がない」の合計）が54%と半数以上である。これを見ても経済的な余裕を感じることもできる生活者は多くないことがわかる。

この金銭的余裕度と生活不安には強い負の関係が存在する。例えば「収入・日々のやりくり」「貧困に陥る懸念」「雇用の維持・就職の機会」「物価の水準」などに対する不安感は生活の金銭的余裕度と統計的に有意な関係が観察される。すなわち余裕がないほど生活不安が大きい。雇用を失う不安が大きいので生活の余裕を感じられないといった方向の因果関係もあるかもしれない。しかし基本的には余裕がないから様々な生活リスクに脆弱な家計

その2 生活経営力指数を算出する

では生活を経営する力はどうのように培われるのだろうか。生活経営力を高めることはそれほど簡単ではない。特に複雑化した現代社会においては知識不足、能力不足のために適切とはいえない選択をしたり、より望ましい結果をつかみ損ねたりしている生活者は昨今の消費者トラブル事例を見るまで

もなく多い。義務教育や高等教育において実践的な生活経営学や生活経済学を学ぶ機会はあるが十分とはいえないか。つまり、青年期ではその重要性に気がつかず聞き流してしまったりすることもある。

本調査では生活者に対して自らの生活経営能力についての評価を尋ねている。質問内容は「住宅、教育ローンなどを別にすると、年間の家計収支は赤字である」「生命保険、損害保険など、生活リスク管理のためのサービスは自分で考え納得して決断している」「生活設計に大きな影響を与える税制度や

公的な制度の知識は十分持っている」「新たに仕事を探さなければならぬ」としても、自分が生活しているだけの所得を得るだけの『稼ぐ力』を持っている」「仕事と余暇のバランスは自らの意思でうまく取ることができている」「自分の持つ資産（土地などの実物資産や金融資産）を合理的に運用できている」「長期的な視点に立った、計画的な貯蓄ができていく」「社会生活を営むうえで、政治経済などの社会的知識は持っている」の8つである。それぞれの質問に対して「非常にそう思う」「全くそう思わない」の6件

法で回答を得ている。その回答に対して探索的因子分析を行った結果、因子は1つしか検出されなかった。そこで改めてこの8つの回答データをもとに主成分分析を行い、抽出された1つの主成分を「生活経営力指数」と定義し、回答者ひとりひとりのスコアを計算した。そのスコアの分布を見ると全体的には山形を形成しており、左にも右にも大きく偏っていない。能力のあるなしが平均的に分布していることも確認され、指数として用いても問題がないと判断した。

この生活経営力指数をもとに属性の

Chart 1

生活の金銭的余裕度

「今現在のあなたの生活は金銭的に余裕がありますか」という質問を行い、回答別割合を見た。経済的な余裕を感じていない生活者のほうが多いことがわかる。

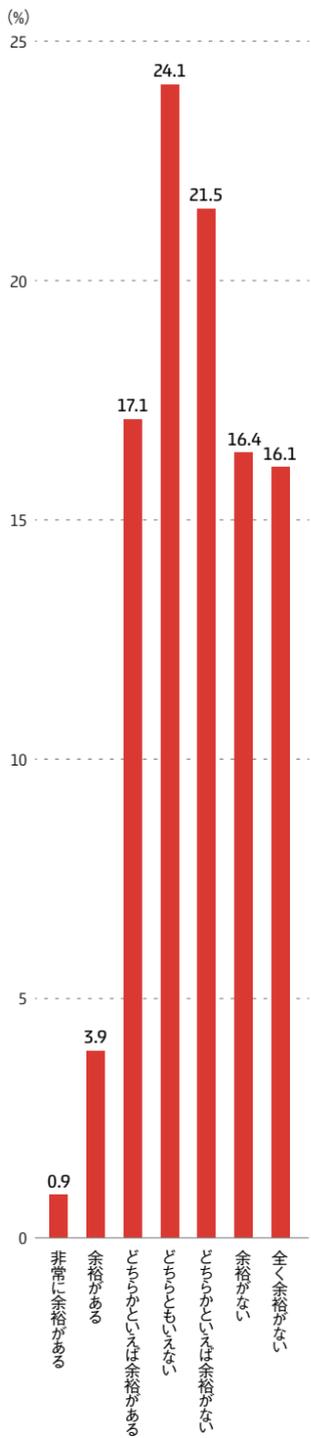


Chart 2

職業別「生活経営力指数」

生活経営能力を自己評価する質問を行い、回答データの主成分分析から抽出された1つを「生活経営力指数」と定義し、職業別に見た（平均値の95%信頼区間を表示）。生活経営力指数の値が小さいほど、生活経営能力は高い。

